|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい社会」**知識の構造図****【6年】** |

令和6年（2024年）1月版

東京書籍

□　知識の構造図　わたしたちのくらしと日本国憲法

中心概念 まとめる

日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めており、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方にもとづいている。

⑦

（概念的知識）

日本国憲法の基本的人権の尊重にもとづいて行われている身近な取り組みには、国民の生まれながらの権利を保障するものがある。

⑤

・基本的人権の尊重

・国民の権利

・国民の義務

・ユニバーサルデザイン

日本国憲法の平和主義にもとづいて行われている身近な取り組みは、戦争の悲惨さを伝えたり、平和を願ったりするさまざまな活動として表れている。 　⑥

・平和主義・原子爆弾（原爆）・自衛隊

日本国憲法には三つの原則があり、それぞれがわたしたちのくらしと関わりがある。

②

・国民主権・基本的人権の尊重・平和主義

日本国憲法の国民主権にもとづいて行われている身近な取り組みには、選挙や情報公開制度などがあり、国民が主権者であることを示している。 ④

・国民主権・選挙・情報公開制度・天皇の国事行為

・日本国憲法

日本国憲法が、わたしたちのくらしのいろいろなところで生かされることで、わたしたちは安心して豊かな生活を送ることができる。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　国の政治のしくみと選挙

中心概念 まとめる

国の政治は、国民主権の考え方の下、国民の生活の安定と向上をはかる大切な役割をしており、国会・内閣・裁判所が三権分立のしくみの下で国の重要な役割を分担している。 ④-2

（概念的知識）

国会で決定された法律や予算にもとづいて、国民のために仕事を行うことが、内閣の働きである。

③

・内閣

・行政

・国民の祝日

・選挙

・税金

・予算

わたしたちの意見を政治に反映させてくれる代表者を決めるのが選挙であり、さまざまな公共サービスにかかる費用をまかなう税金の使い方などは、選挙で選ばれた代表者によって決められる。 ①

国民の生活の安定と向上を図るために、法律や予算などを審議したり決定したりすることが、国会の働きである。

②

・国会

・立法

・衆議院と参議院

社会の課題を解決するためには、日本国憲法と政治の働きを考え、国民一人一人の政治への関わりが必要である。

❶

法律にもとづいて問題を解決し、国民の権利を守る仕事を行うことが、裁判所の働きである。

④-１

・裁判所

・司法

・裁判員制度

社会的事象

（具体的知識）

・社会の課題

・解決の方法

・政治の役割

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　子育て支援の願いを実現する政治

市の政治は、市民の要望と法律をもとに、市民が選挙で選んだ市長と市役所が計画を立て、市民が選挙で選んだ市議会議員によって決定された後、市民の税金を使って運営されている。このようにして、市民生活の安定と向上が図られている。　⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

みんなの願いを実現するためには、さまざまな人の声を聞き、さまざまな立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切である。 ❶

・さまざまな立場・多様な意見

「あいぱれっと」で安全で安心できる活動や子育て支援活動を行うため、市長のもとで市役所が法律にもとづき、市民の要望や市の実態をふまえて計画を立て、予算を計算して建設し、運営している。 ②

・市役所　・市長・計画案　・予算案・申請　　・補助金

「あいぱれっと」を建設し運営するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。税金は、わたしたちの生活や社会を支える大切なものである。 ④

「あいぱれっと」は、市の提案にもとづき、市民による選挙で選ばれた市議会議員が、市議会で計画や予算を決定して建設されている。このように、市民と市議会は密接に関わっている。 ③

・公共施設

・子ども家庭総合センター

・子育て支援

子ども家庭総合センター「あいぱれっと」は、さいたま市がつくった公共施設であり、子どもをもつ親たちのさまざまな願いをかなえる工夫がされている。 ①

社会的事象

（具体的知識）

・税金

・納税

・市議会

・市議会議員・選挙　・条例・請願　・傍聴

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　 つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　震災復興の願いを実現する政治

人々の願いを実現するために、国や県、市の政治の働き（法律の制定や予算の成立）がかかわっており、それらは、国民の生活の向上を図るために重要な働きをしている。　　　　　 ⑤

中心概念 　まとめる

（概念的知識）

みんなの願いを実現するためには、さまざまな人の声を聞き、さまざまな立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切である。 ❶

・さまざまな立場

・多様な意見

国は必要な法律を早急に制定したり、特別な予算を立てたりして、被災地の支援を行っている。

③

大震災などの災害の発生を想定して、震災直後から被災者を助けるために、市や県、国がそれぞれ連携・協力してすぐに動き出せるような体制がつくられている。 ②

市は震災復興計画を作成し、計画に基づいて、復興に向けた取り組みを行っており、また、市民も国や県、市の支援を受けながら、新しいまちづくりに向けて、みんなで協力している。 ④

東日本大震災によって被災した人々の復旧･復興への願いを実現させるために、政治の働きがかかわっている。

①

社会的事象

（具体的知識）

・東日本大震災復興基本法

・復旧　・復興

・補正予算

・復興庁

・まちづくり

・復興への課題

・定住

・語り部活動

・災害対策本部

・災害救助法

・自衛隊の派遣

・東日本大震災

・津波

・被災者

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　 　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　縄文のむらから古墳のくにへ

狩猟・採集の生活から、農耕の生活となり、生活や社会の様子は変化した。むらは次第にくにへと発展し、各地に大きな力をもつ豪族が出現し、やがて大和朝廷（大和政権）により国土が統一されていった。 　　⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

縄文のむらは、狩りや採集を中心とした生活であり、弥生のむらは、農耕を中心とした生活を行っていた。

③

・縄文時代のくらし

・弥生時代のくらし

・古墳　・石室

・仁徳天皇陵古墳

（大仙古墳）

・前方後円墳

・はにわ

三～七世紀には、すぐれた技術者を指図し、多くの人々を働かせて、古墳という墓が築かれた。古墳の大きさは王や豪族の力の大きさを表し、巨大な古墳が各地に現れた。 ⑤

米づくりが広がると、力の強いむらが周辺のむらを従え、次第にくにへと発展した。くにを支配する王や豪族は、大陸と交易し、技術や文化を取り入れ、くにづくりに役立てた。 ④

・くに　・豪族　・王

・卑弥呼　・邪馬台国

・青銅器　・鉄器

弥生のむらの人々は、同じ場所に集団で住むようになり、指導者を中心に協力して米づくりを行っていた。

②

大和地方に、より大きな力を持つ大和朝廷（大和政権）が現れ、その中心に大王がいた。五～六世紀ごろには、九州地方から東北地方南部までの豪族や王を従え、渡来人によって伝えられた大陸からの文化を積極的に取り入れた。 ⑥

縄文のむらの人々は、協力して狩猟や採集の生活を営み、必要な道具は、石、木、骨などでつくっていた。

①

社会的事象

（具体的知識）

・板付遺跡

・米づくり ・石包丁

・弥生土器 ・弥生時代

・大王　・神話

・渡来人

・大和朝廷（大和政権）

・古事記

・日本書紀

・三内丸山遺跡 ・貝塚

・たて穴住居

・縄文土器 ・縄文時代

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　天皇中心の国づくり

聖徳太子の国づくりは、中大兄皇子や中臣鎌足によって受け継がれ、聖武天皇のころには、仏教を取り入れた天皇を中心とした政治の仕組みが確立された。 　　⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

中大兄皇子と中臣鎌足は、勢力を強めた蘇我氏を倒し、天皇を中心とする国づくりを進めた。国を治めるための法律もでき、都には日本各地から多くの産物が運ばれ、天皇を中心とする国づくりを支えた。 ②

・大化の改新

・貴族　・藤原京

・律令　・租・調・庸

・木簡

都では病気が流行し、都を支える地方でも人々のくらしは厳しく、なかなか政治が安定しなかった。聖武天皇は、仏教の力で社会の不安をしずめ、国を治めようとして、国分寺をつくらせた。 ③

・平城京

・仏教

・国分寺

大仏をつくり、仏教の力で国を安定させようと、全国から人や物資が集められた。聖武天皇の詔の後、行基が弟子とともに大仏づくりに協力し、すぐれた技術をもつ渡来人の指導と多くの人たちの力で大仏が完成した。 ④

聖徳太子は、天皇中心の国づくりを進めるため、遣隋使を隋に派遣して大陸文化を取り入れたり、冠位十二階や十七条の憲法を定め、政治の仕組みを整えたりした。また、法隆寺を建てて仏教を広めようとした。①

聖武天皇は、中国へ使者や留学生を送って大陸の政治の仕組みや文化を学ばせる一方、日本に正式な仏教を広めるために鑑真を招いた。このころ我が国には、大陸の文化が伝わってきた。 ⑤

・大陸の文化

・遣唐使　・正倉院

・鑑真　・唐招提寺

社会的事象

（具体的知識）

・大仏づくり

・聖武天皇の詔

・東大寺　・渡来人

・行基　・開眼式

・遣隋使　・隋

・天皇　・冠位十二階

・十七条の憲法

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　貴族のくらし

京都に都が置かれたころ、貴族のくらしの中から日本風の文化が生まれた。

③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

平安時代の貴族の年中行事の中には、現在も続いているものがある。

③-１

貴族たちのくらしの中から大和絵や十二単などの服装が生み出されたり、かな文字がつくられて、物語、随筆など多くの文学作品が書かれたりするなど、華やかな日本風の文化が生まれた。 ②

・大和絵

・かな文字

・源氏物語

・枕草子

・日本風の文化

・随筆

平安時代、藤原道長は、娘を天皇の妃にすることで天皇とのつながりを強め、政治を動かすほどの権力をもった。貴族たちは、寝殿造の大きな屋敷でくらした。 ①

・平安京

・貴族

・寝殿造

・和歌

社会的事象

（具体的知識）

・年中行事

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　武士の世の中へ

平清盛、源頼朝、源義経らの働きによって武士による政治が始まり、源頼朝がご恩と奉公という主従関係によって武士を統率した。 　　⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

源頼朝は、ご恩と奉公の主従関係で武士を従えた。承久の乱の後、執権の北条氏を中心とした鎌倉幕府の力は西国にまで及ぶようになった。 ④

・ご恩と奉公

・承久の乱

・北条氏

平氏打倒の兵を挙げた源頼朝のもとに武士たちが集まり、源義経らに率いられた源氏の軍が平氏を滅ぼした。源頼朝は征夷大将軍になり、鎌倉幕府を開き武士による政治を始めた。 ③

・源平の戦い

・守護　・地頭

・征夷大将軍　・御家人

・鎌倉幕府

武士団の中で力の強かった平氏と源氏が戦った結果、平清盛を中心とした平氏が政治の実権を握り、政治を思うがままに動かすようになったが、しだいに貴族やほかの武士たちの間で不満が高まっていった。②

・武士団

・源氏と平氏

・保元の乱

・平治の乱

・武士

・領地

・豪族

・武芸

貴族が都で華やかな生活をしていたころ、地方の有力な農民は、田畑を切り開いて領地を拡大し、自分の領地を守るために武芸にはげみ、武士となった。 ①

元軍の襲来に対して、各地から集められた武士（御家人）たちは一所懸命に戦ったが、幕府から新しい領地をあたえられなかったので、御家人たちの幕府に対する不満は高まった。 ⑤

・元寇

・てつはう

・一所懸命

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　今に伝わる室町文化

京都の室町に幕府が置かれたころ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれ、武士や貴族から民衆に広まり、今日も多くの人に親しまれている。　　　　　　　　　　　③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

室町時代には、雪舟が水墨画を大成し、茶の湯や書院造の床の間を飾る生け花などの文化が生まれ、それらは今も多くの人に親しまれている。

②

・雪舟

・すみ絵（水墨画）

・茶の湯　・生け花

京都に幕府が置かれていたころ金閣や銀閣などの建物がつくられ、世界遺産となっている。また、東求堂には現在の和室の原型となった書院造がある。 ①

民衆の間では祭りや盆踊りがさかんに行われるようになり、日本の伝統芸能である能や狂言も生まれ、庶民に親しまれるようになっていった。生活面でも、現在につながる習慣が生まれた。　　　　　③-１

・田楽（祭り・盆踊り）

・能

・狂言

社会的事象

（具体的知識）

・金閣

・銀閣

・書院造

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　戦国の世から天下統一へ

中心概念 まとめる

織田信長と豊臣秀吉は、ヨーロッパとの貿易を進めたり、経済力を高めたり、制度や法を整えたりして力を高め、戦国の世を統一していった。 　　 　 　⑥

（概念的知識）

織田信長は、商業都市をおさえて資金を蓄え、鉄砲などの武器をそろえて有力な大名を倒して勢力を拡大した。そして、安土城を築いたり商業をさかんにしたりして天下統一を進めていった。 ④

・安土城

・楽市・楽座

ザビエルによってキリスト教が伝えられたり、南蛮貿易でヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきたりするなど、外国との関わりが日本の宗教や戦い方などに影響を与えた。 ③

・ザビエル

・キリスト教

・南蛮貿易

一〇〇年以上続いた戦国の世は、織田信長・豊臣秀吉らの働きによって統一されていった。

②

・長篠城

・大阪城

・天下統一

豊臣秀吉は、全国の有力な大名を倒して大阪城を築き、検地と刀狩によって武士と百姓･町人の身分を区別し、武士が世の中を支配する仕組みをつくって天下を統一した。 ⑤

・検地と刀狩

・百姓

・戦国大名

・長篠の戦い

・鉄砲　・織田信長

・豊臣秀吉

室町幕府が衰えると、戦国大名が各地で戦いを続ける戦国の世となり、鉄砲を使って長篠の戦いに勝利した織田信長や豊臣秀吉が力を発揮するようになった。 ①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　江戸幕府と政治の安定

徳川家康が開いた江戸幕府は、武家諸法度により大名を統制し、参勤交代の制度や外交のあり方を定めて将軍権力を確立し、身分制に基づいて、武士による安定した政治を行うようになった。 　 　⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

江戸幕府は武家諸法度によって大名を統制し、日光東照宮や江戸城を整備して権力を確立した。

②

・武家諸法度

・日光東照宮

・江戸城

江戸幕府は、参勤交代の制度を定めて全国の大名を交代で江戸の屋敷に住まわせ、服属させることで権力を安定させた。

③

・参勤交代

・大名

・五街道

江戸幕府は、全国の人々を武士や百姓、町人などの身分として位置付け、くらしにみあった負担をさせた。

④

・身分

・城下町と町人

・村と百姓

江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり、貿易船の出入りを制限することによって、貿易を独占した。

⑤

・キリスト教の禁止

・島原・天草一揆

・鎖国

・徳川家康

・征夷大将軍

・江戸幕府

徳川家康は関ヶ原の戦いに勝って全国支配を確かなものにし、征夷大将軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。全国の大名配置を工夫して、のちに豊臣氏を滅ぼし、戦いのない安定した世の中をもたらした。 ①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　 調べる

□　知識の構造図　町人の文化と新しい学問

江戸時代中ごろから、江戸や大阪などの都市を中心として、歌舞伎や浮世絵などに代表される町人文化が栄え、多くの人々の心をとらえるとともに、蘭学や国学などの新しい学問が生まれ、多くの人々の間に広がった。 　　⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

江戸時代の後半になると、杉田玄白や伊能忠敬といった優れた学者が活躍し、医学や測量学などの蘭学が生まれ、多くの人々の間に広がった。 ③

・蘭学

・杉田玄白

・伊能忠敬

・江戸

・大阪

・文化

江戸時代に入ると平和が続き、社会が安定するにともなって、江戸や大阪といった大都市がにぎわい、新しい学問や文化が生まれた。

①

人々は歌舞伎や人形浄瑠璃、浮世絵に親しみ、近松門左衛門や歌川広重のような優れた作者が登場した。

②

・近松門左衛門

・歌舞伎　・浮世絵

・歌川広重

江戸時代の後半、本居宣長のような優れた学者が現れ、日本古来の思想を学ぼうとする国学が生まれ、多くの人々の間に広がった。このころききんなどで社会が不安定となり、百姓一揆や打ちこわしが各地で発生した。 ④

・国学　・本居宣長

・百姓一揆

・打ちこわし

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　 調べる

□　知識の構造図　明治の国づくりを進めた人々

明治維新を進めた人々は、欧米の考え方や制度・技術を取り入れて、近代的な経済、軍事、社会、政治の仕組みを整えた。 　　 ⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

・西郷隆盛

・西南戦争

・板垣退助

・自由民権運動

・国会開設

特権を奪われた武士たちは武力による反乱を起こしたが、やがて言論で主張する世の中へと変わり、板垣退助らが自由民権運動を広めて政府は国会開設を約束した。 ⑤

西洋の新しい考え方や制度・技術が取り入れられ、江戸時代の身分制度が改められた。また人々の生活が便利になる仕組みができた。 ④

・学問のすゝめ

・文明開化

・学制

ペリーの来航によって開国をした我が国では、外国の力の大きさを実感した武士たちが、江戸幕府を倒して強い国づくりを進めようという思いをもって新しい政府をつくろうとした。 ②

・黒船来航　・開国

・日米和親条約

・日米修好通商条約

・五箇条の御誓文

江戸時代末から明治時代にかけて、「明治維新」という、人々の生活や政治などの大きな変化が起こった。

①

国会開設に備えて板垣退助や大隈重信らは政党をつくった。また伊藤博文らが中心となって大日本帝国憲法がつくられ、明治政府の基本的な国の治め方が定まった。 ⑥

・大隈重信 ・政党

・大日本帝国憲法

・伊藤博文

・選挙

新しい政府の中心となった大久保利通らは、欧米に負けない国づくりをめざし、工業の近代化と税収の安定による経済力の強化と軍事力の強化に力を入れた。 ③

・廃藩置県

・富国強兵

・徴兵令 ・殖産興業

・地租改正

社会的事象

（具体的知識）

・明治維新

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　 調べる

□　知識の構造図　世界に歩み出した日本

我が国の産業や科学・文化の発展と国力の充実にともなって、日清・日露戦争に勝利し、国際的地位が向上したことで、条約改正が達成されたが、他方で、産業の発展は人々の生活や社会に大きな変化をもたらした。 ⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の植民地支配に対し、朝鮮の人々は独立運動を続けた。一九一一年には、小村寿太郎が条約改正に成功し、関税自主権が回復された。また、医学などの研究で世界に認められる学者が現れ、日本の国際的地位の向上に貢献した。 ④

産業が発展し都市化が進む一方で、さまざまな社会問題が起きた。また、人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃をめざす運動が起こった。 ⑤

明治政府は、国の独立を守り、日本の産業を発展させるために、幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約の改正をめざして交渉を行った。

①

明治政府の殖産興業政策によって日本の産業が発展していくなかで、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ②

朝鮮半島や満州の支配をめぐって日清戦争・日露戦争が起こった。日本の勝利は欧米諸国に日本の力を認めさせ、アジアの国々を勇気づけることになった。 ③

社会的事象

（具体的知識）

・殖産興業

・製糸業　・紡績業

・欧米諸国

・条約改正 ・鹿鳴館

・関税自主権

・領事裁判権

・ノルマントン号事件

・韓国併合　・独立運動

・関税自主権の回復

・科学の発展

・国際的地位の向上

・足尾銅山

・民主主義　・普通選挙

・女性の地位向上

・全国水平社

・日清戦争　・日露戦争

・賠償金

・満州　・植民地

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　 つかむ　　　　調べる

□　知識の構造図　長く続いた戦争と人々のくらし

中心概念 まとめる

長く続いた戦争は、国民生活に大きな影響を及ぼし、国民や近隣諸国に大きな被害をもたらした。

　 ⑦

（概念的知識）

戦争が世界に広がる中で、資源を得るために東南アジアに進出した日本は、やがて太平洋戦争に突入し、アメリカやイギリスなどと戦った。初めは勝利したが、だんだんと敗戦を重ねるようになった。 ③

各都市の軍事施設や工場だけでなく、住宅地も爆撃され、東京や大阪をはじめ多くの都市が焼け野原になり、多くの命が奪われた。

　　　　　　　 ⑤

国民を戦争に協力させるために、政府は戦時体制を強め、くらしはすべて戦争のために制限された。

④

人々が不景気に苦しむなかで、中国に日本の勢力をのばすことで景気を回復させようという考え方が広まった。満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し、その後、戦争は中国各地に広がっていった。 ②

戦争末期、沖縄での激しい戦いで多くの人が亡くなり、広島・長崎には原子爆弾が投下されてたくさんの命が一瞬で奪われた。ついに日本は降伏し、十五年にわたる長い戦争が終わった。 　　　 ⑥

長く続いた戦争の終盤、広島に原子爆弾が落とされた。被害を受けた建物は原爆ドームとして世界平和をめざすシンボルとして世界文化遺産に登録された。 ①

社会的事象

（具体的知識）

・不景気　・満州

・満州事変

・国際連盟

・日中戦争

・原子爆弾

・原爆ドーム

・世界文化遺産

・第二次世界大戦

・軍事同盟

・太平洋戦争　・赤紙

・満州

・戦時体制

・配給制

・集団疎開

・空襲

・防空壕

・焼夷弾

・沖縄戦

・原爆投下

・ソ連の参戦

・植民地支配

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　 調べる

□　知識の構造図　新しい日本、平和な日本へ

戦後の日本は、さまざまな戦後改革を行って、平和で民主的な国家として出発した。そして、経済・産業の発展によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。しかし世界と日本にはまだ課題もある。　　　　　　　　　⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

世界や日本が変化する中で、解決しなければならない課題が多く出てきた。地域や社会の課題に、わたしたちひとりひとりが積極的に関わっていくことが求められている。 ⑤

・持続可能な開発

・少子高齢化

・自然災害

・ボランティア

東京オリンピック・パラリンピックの開催は国民に自信をあたえるとともに、産業をさらに発展させるきっかけとなった。一方、経済の高度成長のかげで公害などの環境問題が起こった。 ④

・新幹線　・高速道路

・東京オリンピック・パラ

リンピック

・国民総生産

歴史上の人物や文化遺産の学習を通して、当時の人々の思いや社会の状況を読み取ることができるとともに、現在や未来の社会のあり方を考えていく手がかりを得ることができる。 ❶

日本は、日本国憲法の制定をはじめとする戦後改革を行い、平和で民主的な国家として出発した。

②

・戦後改革

・民主主義

・日本国憲法

日本は、サンフランシスコ平和条約を結んで主権を回復し、国際連合への加盟も認められたことによって国際社会に復帰することができた。その後、アメリカの協力や国民の努力によって産業が復興し、生活が向上した。 ③

・サンフランシスコ平和

条約

・国際連合

日本の文化や技術は、世界で認められ、さまざまな面で世界に貢献している。防災をはじめ、少子高齢化、人権、領土などの課題をどのように解決していくかを考えていくことが必要である。 ⑥

終戦直後の人々の生活は苦しいものだったが、やがて復興をとげ、現在の発展した生活へと変化をしてきた。

①

・買い出し列車

社会的事象

（具体的知識）

・人権

・領土

・意見文

・学習のふり返り

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　日本とつながりの深い国々

日本と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であり、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切である。 　　⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

スポーツや文化を通じて他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重しあうことが大切である。

⑥

日本は、ものや人の行き来や、文化やスポーツなどの交流を通して、世界のさまざまな国とつながりをもっている。

①②

アメリカの生活の様子には、日本と似ているところとちがうところがある。国土が広く自然が豊かで、大規模農業や工業が発展し、世界に影響を与えている。また、祝日や行事を家族で祝う習慣がある。世界各地からの移民が多く、多文化社会であり、言葉や習慣も多様である。 ③④⑤

中国の生活の様子には、日本と似ているところとちがうところがある。日本の文化には漢字や茶など中国から来たものが多くある。人々は、伝統的な習慣や芸能などを守っている。経済発展を続ける中国は日本との結びつきが強まっており、また、中国の発展は世界から注目されている。 ③④⑤

フランスの生活の様子には、日本と似ているところとちがうところがある。学校では、学年が終わるころにお祭りがある。市場や商店がにぎやかな国であり、大都市と地方ではくらしの様子が異なっている。植民地だった国からの移民が多く、農業や観光業がさかんである。 ③④⑤

ブラジルの生活の様子には、日本と似ているところとちがうところがある。ブラジルは南半球に位置し、夏と冬の時期は日本と逆である。日本からブラジルへの移民の歴史がある。資源が豊富で鉄鉱石を多く採掘して輸出しており、農産物の輸出もさかんである。 　 ③④⑤

社会的事象

（具体的知識）

・国際社会

・交流

・伝統

・カーニバル　・民話

・先住民族　・日系人

・熱帯林　・森林の伐採

・鉄鉱石　・コーヒー豆

・フェアトレード

・バイオエタノール

・ケルメス　・マナー

・マルシェ　・宗教

・植民地　・農業

・観光　・歴史的な建物

・民族　・先住民族

・グローバル化

・感謝祭　・移民

・大規模農業

・多文化社会

・世界文化遺産

・一人っ子政策　・屋台

・漢字　・春節　・観光

・ＩＴ特区　・経済発展

・国際交流協会

・オリンピック・パラリンピック　・芸術

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　調べる

□　知識の構造図　世界の未来と日本の役割

中心概念 まとめる

世界には解決すべき課題がいくつもあり、日本の人々はこれらを解決するために国際連合や青年海外協力隊、NGO などの活動を通して積極的に世界の平和と発展に貢献している。⑤

（概念的知識）

地球環境の悪化を防ぎ、持続可能な社会を実現するために、世界や日本には現地の人々と協力して環境保全に努めている多くの人々がいる。 ③

・持続可能な社会

・国連気候変動枠組条約

・環境問題

国際連合では多くの国々が協力して平和と安全、人類の福祉のために活動しており、日本の人々もさまざまな活躍をしている。

 ②

・国際連合

・ユニセフ

・ユネスコ

・世界文化遺産修復活動

・自衛隊の平和維持活動

国際社会にはＳＤＧｓの目標に分類されるようなさまざまな課題があり、これからも継続して解決に向けた取り組みを進めることが必要である。 ❶

日本のＮＧＯや青年海外協力隊は、支援を必要としている多くの国々の人々のために、教育、衛生、農業などの分野で活躍をしている。

④

・国際協力

・ＯＤＡ　・ＮＧＯ

・青年海外協力隊

・国旗　・国歌

世界には、紛争や貧困、環境などに関するさまざまな課題があり、これらを解決するために日本の人々が活動している。

 ①

社会的事象

（具体的知識）

・ＳＤＧｓの取り組み

・ＳＤＧｓ

・紛争

・難民の生活

・貧困問題

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす